

兵庫県加古川市

美乃利遺跡

—一級河川別府川河川改良事業に伴う発掘調査報告書—

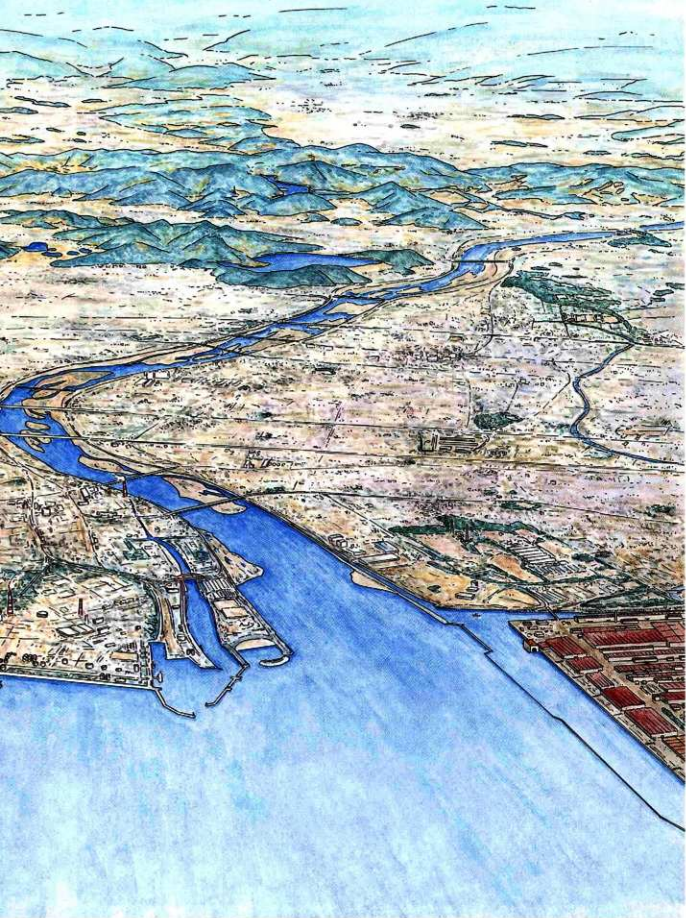
1997・3

兵庫県教育委員会



加古川下流域平野の地形

©RESTEC



加古川平野全景



美乃利遺跡遠景



加古川平野全景



美乃利遺跡全景（南から）



美乃利遺跡全景（北東から）



SD48 (南西から)



SD47 (南西から)



SE01 (南西から)



SK33 (南から)



SK33出土土器



Ⅳ区第1面(2) 全景(西から)



Ⅳ区第4面 全景(西から)



▽区第2面 全景(南から)



▽区第4面 全景(西から)



SH15上層土器出土狀況



SH15出土土器



SK180土器出土状況



SK180出土土器



弥生土器（前期）



弥生土器（中期）



J1

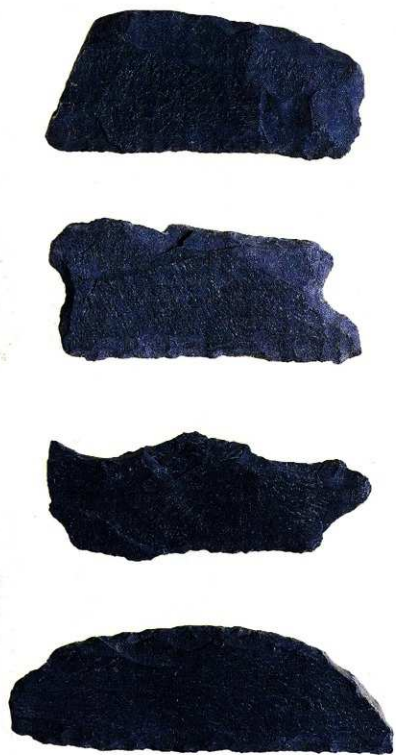


J2



J3

玉類



石包丁



石鏃



石器



奈良時代の土器



中世土器

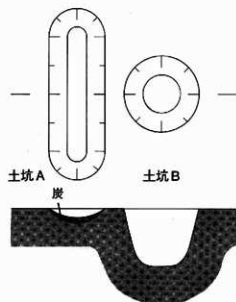
例 言

1. 本書は、加古川市加古川町大野・美乃利に所在する美乃利遺跡の発掘調査報告書である。本報告書は「本文編」「図版編」「写真図版編」の3分冊からなる。
2. 発掘調査は、一級河川別府川河川改良事業に先立つもので、兵庫県加古川土木事務所の委託を受け、兵庫県教育委員会が昭和63年度・平成元年度に確認調査を、平成2年度・3年度に全面調査を実施した。確認調査は、兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所 村上泰樹・平田博幸・山田清朝が、全面調査は同 山田清朝・菱田淳子・中村 弘・矢野治巳が担当した。
なお、全面調査は、三宅建設株式会社と請負契約を結び実施した。
また、確認調査の遺跡調査番号は880070・890080、全面調査の遺跡調査番号は900003・910055である。
3. 遺構の実測・写真撮影は調査員が行った。なお、空中写真撮影・空中写真測量については御写測エンジニアリングに委託した。なお、巻首図版2のイラストは松本嘉子によるものである。
4. 調査にあたって、奈良国立文化財研究所調査室長（当時）工業普通、奈良大学教授 酒井龍一、立命館大学助教授 高橋 学の各氏には現地にて御指導をいただいた。また高橋氏からは、調査地での所見をもとに玉稿をいただいた。
5. 整理作業は、平成4年度から兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所に実施した。
6. 遺物の接合・実測・トレース・復元については当事務所整理普及班で行い、遺物写真については熊吉田カメラ商会に委託した。また、金属製品および木製品の保存処理については、同事務所整理普及班加古千恵子・藤田 淳が行った。
7. 木製品の樹種同定については京都大学木質研究所教授 伊東隆夫、須忠器・瓦の産地同定については奈良教育大学教授 三辻利一、炭化米のDNA鑑定については静岡大学助教授 佐藤洋一郎、炭化米の形態分析については佐賀大学教授 和佐野喜久生、サヌカイトの産地同定については京都大学原子炉実験所教授 薬科哲男、ガラス玉の分析については肥塚隆保、プラントオパール分析については皇学館大学講師山山秀一の各氏に、種実の同定についてはバリノ・サーヴェイ株式会社それぞれ依頼し玉稿をいただいた。また、サヌカイト以外の石材の産地同定については、神戸女子大学教授 後藤博爾氏に依頼し、この結果については本文中において引用させていただいた。
8. 本書で使用した方位は、座標北を示す。また標高は、東京湾平均海水準（T.P.）を基準とした。
9. 本書に用いた遺物番号は、本文・図版・写真図版とも統一している。
10. 本書の編集は森本貴子の補助のもと山田が行い、山田・菱田・中村・矢野が執筆した。
11. 本報告にかかる遺物は兵庫県教育委員会魚住分館（明石市魚住町清水）に、写真は兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所に保管している。
12. 最後に、発掘調査および報告書の作製にあたっては、以下の方々の御援助・御指導・御教示をいただいた。記して感謝の意を表するものである。

赤澤徳明（福井県教育庁）・田畑直彦（山口大学）・安田 滋（神戸市教育委員会）・山本雅和（神戸市教育委員会）・岡本一上（加古川市教育委員会）・吉田 広（愛媛大学）

凡 例

1. 遺構については、竪穴住居跡をSH、掘立柱建物跡をSB、土坑をSK、溝をSD、埋葬遺構をSX、井戸をSE、柱穴をPと略称し、各遺構番号の頭につけている。
2. 遺物は、本文編と図版編に掲載されているが、本文編→図版編の順に通し番号を付けている。ただし、石器にはS、玉類にはJ、金属製品にはM、木製品にはWをそれぞれの番号の頭に付け、土器と区別している。
3. 竪穴住居跡内の中央土坑の呼称は、下図による。



目 次

第1章 美乃利遺跡	
第1節 地理的環境	(山田) 1
第2節 歴史的環境	(菱田) 5
第2章 調査に至る経緯	
第1節 はじめに	(山田) 9
第2節 確認調査	(山田) 10
第3節 全面調査	(山田) 12
第4節 整理作業	(山田) 14
第3章 調査の結果	
第1節 調査の概要	(山田) 17
第2節 I区の調査	(山田・菱田) 27
第3節 II区の調査	(山田・菱田) 63
第4節 III区の調査	(山田・菱田) 75
第5節 IV区の調査	(山田・菱田・中村・矢野) 111
第6節 V区の調査	(山田・菱田・中村・矢野) 203
第4章 自然科学的分析の結果	
第1節 美乃利遺跡出土のサヌカイト製遺物の石材産地分析	(藤科・東村) 317
第2節 美乃利遺跡出土須恵器・瓦の蛍光X線分析	(三辻) 329
第3節 美乃利遺跡から出土した木製品の樹種	(伊東) 339
第4節 美乃利遺跡出土種実の同定	(バリノ・サーヴェイ株式会社) 345
第5節 兵庫県・美乃利遺跡出土炭化米のDNA分析結果について	(佐藤) 347
第6節 美乃利遺跡の古代稲	(和佐野) 349
第7節 美乃利遺跡出土ガラス玉の分析	(肥塚) 359
第8節 美乃利遺跡の立地環境と稲作	(外山) 361
第9節 加古川下流域平野の地彩環境の分析	(高橋) 371
第5章 遺物のまとめ	
第1節 弥生時代前期～中期初頭の土器	(山田) 379
第2節 弥生時代中期の土器	(山田) 407
第3節 弥生時代後期の土器	(中村) 421
第4節 奈良時代の土器	(菱田) 433
第5節 平安～鎌倉時代の土器	(山田) 439
第6節 石器及び玉類	(菱田) 451
第7節 木製品	(中村) 463
第8節 瓦	(菱田) 465

第9節 金属製品	(山田) 467
第6章 遺構の検討	
第1節 水田跡	(山田) 469
第2節 住居跡	(中村) 479
第3節 畝	(山田) 487
第7章 まとめ	
第1節 遺構の変遷	(山田・斐田・中村) 501
第2節 地形環境の変化と土地利用の変化	(山田) 523
第3節 周辺遺跡との関連	(山田) 541
第4節 総括	(山田) 543

挿 図 目 次

第1図 遺跡の位置	第22図 確認調査柱状図	21
第2図 加古川市の位置	第23図 完新世段丘崖	21
第3図 大正6年の現加古川市域	第24図 美乃利遺跡基本土層図	22
第4図 主要周辺遺跡	第25図 土壌層と埋没段丘	23
第5図 別府川と工事範囲	第26図 基本土層図	24
第6図 調査位置	第27図 美乃利遺跡基本土層	25
第7図 確認調査位置(第1次)	第28図 I区基本土層	26
第8図 確認調査位置(第2次)	第29図 I区の遺構	28
第9図 第2次確認調査	第30図 I区第2面出土土器	29
第10図 地区割り図	第31図 I区第2面出土土器	29
第11図 調査地の小字	第32図 I区第3面出土土器	29
第12図 土器の復元作業(1)	第33図 I区第1面	30
第13図 土器の復元作業(2)	第34図 I区第2面	31
第14図 炭化米の計測	第35図 I区第2面 住居跡	32
第15図 美乃利遺跡周辺微地形 ブロックダイアグラム	第36図 SH01土器出土位置	33
第16図 加古川平野	第37図 SH04の建て替え	38
第17図 加古川平野の地形	第38図 SH05遺物出土位置	40
第18図 加古川平野横断面	第39図 I区第2面 竪立柱建物跡	41
第19図 美乃利遺跡周辺の微地形	第40図 I区第2面 土坑	44
第20図 野口段丘崖	第41図 I区第2面 溝	46
第21図 微高地横断面	第42図 I区第3面(1)	51
	第43図 I区第3面(2) 水田跡	54

第44図	I区第4面	水田跡(1)	56	第82図	IV区第1面	出土釘	113
第45図	I区第4面	水田跡(2)	57	第83図	IV区第1面	出土土器	113
第46図	I区第4面	水田跡(3)	57	第84図	IV区第1面	出土瓦	114
第47図	II区基本土層		62	第85図	IV区第2面	出土土器(1)	114
第48図	II区の遺構		64	第86図	IV区第2面	出土土器(2)	115
第49図	II区第1面	(2)出土土器	65	第87図	IV区第2面	出土土器(3)	115
第50図	II区第1面	(2)出土瓦	65	第88図	IV区第2面	出土鉄製品	115
第51図	II区第2面	出土土器	65	第89図	IV区第2面	出土石器	116
第52図	II区第2面	の遺構	68	第90図	IV区第1面	(1)	117
第53図	II区第3面	水田跡	72	第91図	IV区第1面	(1)	118
第54図	II区第4面	水田跡	73	第92図	IV区第1面	(2)	119
第55図	III区基本土層		74	第93図	IV区第1面	(2) 掘立柱建物跡	120
第56図	III区の遺構		76	第94図	IV区第1面	(2) 土坑	122
第57図	III区第1面	(2)出土土器	77	第95図	IV区第1面	(2) 墓	123
第58図	III区第1面	(2)出土瓦	77	第96図	IV区第1面	(2) 井戸	124
第59図	III区第2面	出土土器	78	第97図	主要井戸材の位置		125
第60図	III区第2面	出土石器	78	第98図	隅柱調整痕(W8)		125
第61図	III区第1面	(1)	79	第99図	井戸内土層模式図		129
第62図	III区第1面	(2)	80	第100図	出土鉄釘		129
第63図	III区第1面	(2) 掘立柱建物跡	81	第101図	IV区第1面	(2) 溝	130
第64図	III区第1面	(2) 柱穴	82	第102図	SD36/出土巡方		131
第65図	III区第1面	(2) 土器溜	84	第103図	島1		134
第66図	III区第1面	(2) 溝	85	第104図	島2		135
第67図	III区第1面	(2) 島1	90	第105図	島3		136
第68図	III区第2面		91	第106図	島4		137
第69図	III区第2面	土坑	92	第107図	IV区第2面		139
第70図	III区第2面	溝	93	第108図	IV区第2面	住居跡	140
第71図	SD47埋没過程		94	第109図	IV区第2面	掘立柱建物跡	143
第72図	SD48埋没過程(1)		96	第110図	IV区第2面	柱穴	148
第73図	SD48埋没過程(2)		97	第111図	IV区第2面	土坑	151
第74図	III区第3面		103	第112図	SK19土器出土状況		151
第75図	III区第3面	墓	104	第113図	SK22		154
第76図	III区第3面	土坑	104	第114図	壺の底部		159
第77図	III区第3面	水田跡	106	第115図	SK37		160
第78図	III区第4面	水田跡(1)	107	第116図	IV区第2面	溝	169
第79図	III区第4面	水田跡(2)	108	第117図	SD83出土壺		178
第80図	IV区基本土層		110	第118図	S97		186
第81図	IV区の遺構		112	第119図	IV区第3面		188

第120図	Ⅳ区第3面	柱穴	189	第158図	V区第3面	302	
第121図	Ⅳ区第3面	土坑	189	第159図	V区第3面	土坑	303
第122図	SK61土器出土位置	190	第160図	V区第4面	312		
第123図	S96	191	第161図	V区第4面	水田跡	313	
第124図	SK62出土土器(732)	192	第162図	サヌカイトの原産地	318		
第125図	Ⅳ区第3面	溝	197	第163図	平安時代の須恵器		
第126図	Ⅳ区第4面	水田跡	199		のクラスター分析	330	
第127図	V区基本層序	202	第164図	平安時代の須恵器			
第128図	V区の遺構	204		のRb-Sr分布図	330		
第129図	V区第1面出土鉄製品	205	第165図	平安時代の須恵器			
第130図	V区第2面出土土器(1)	205		のK-Ca分布図	331		
第131図	V区第2面出土土器(2)	206	第166図	平安時代の須恵器			
第132図	V区第2面出土瓦	206		のNa因子の比較	331		
第133図	V区第2面出土石器(1)	207	第167図	奈良時代の須恵器			
第134図	V区第2面出土石器(2)	208		のクラスター分析	332		
第135図	第4面出土石器	208	第168図	奈良時代の須恵器			
第136図	V区第1面(1)	209		のRb-Sr分布図	333		
第137図	V区第1面(1)	土坑・溝	210	第169図	奈良時代の須恵器		
第138図	SD17出土土器	210		のK-Ca分布図	333		
第139図	V区第1面(2)	212	第170図	奈良～平安時代の須恵器			
第140図	V区第1面(2)	水田・鋤溝	213		のRb-Sr分布図	334	
第141図	V区第2面	214	第171図	奈良～平安時代の須恵器			
第142図	V区第2面	住居跡	215		のK-Ca分布図	334	
第143図	SH13出土粘土塊	219	第172図	瓦のクラスター分析	335		
第144図	SH15(屋内施設)土器出土状況	222	第173図	瓦のRb-Sr分布図	336		
第145図	SH15上層土器出土状況(1)	224	第174図	瓦のK-Ca分布図	336		
第146図	SH15上層土器出土状況(2)	225	第175図	同定資料の位置	340		
第147図	V区第2面	掘立柱建物跡	229	第176図	顕微鏡写真(1)	341	
第148図	V区第2面	柱穴	234	第177図	顕微鏡写真(2)	342	
第149図	V区第2面	土坑	236	第178図	種実遺体	346	
第150図	SK130遺物出土位置	252	第179図	増幅された炭化米のDNA	348		
第151図	SK135土器出土位置	254	第180図	美乃利遺跡及び北部九州13遺跡			
第152図	S90	257		の炭化米の粒長・粒幅			
第153図	SK167土器出土位置	267		平均値の分布	354		
第154図	SK180土器出土状況	274	第181図	美乃利遺跡、北部九州13遺跡及び			
第155図	V区第2面	墓	285		中国・大嘴子遺跡の炭化米の		
第156図	V区第2面	溝	286		粒長・粒幅平均値の分布	354	
第157図	SD98出土墨書土器	288	第182図	美乃利遺跡の炭化米粒写真	357		

第183図	試料採取地点図 (平面図) ……………	362	第206図	美乃利遺跡周辺主要遺跡における 逆L字形口縁甕の割合 ……	402
第184図	断面図-V区 (第1・第2地点) ……	362	第207図	前期~中期初頭の器種構成 ……	404
第185図	断面図-I区 ……………	363	第208図	弥生中期の壺の分類 (1) ……	408
第186図	プラント・オパール分析結果 (V区) ……	365	第209図	弥生中期の壺の分類 (2) ……	409
第187図	プラント・オパール分析結果 (I区) ……	366	第210図	弥生中期の甕の分類 ……	410
第188図	写真 プラント・オパール ……	369	第211図	弥生中期の鉢の分類 ……	411
第189図	播磨地域の地形概要 ……	372	第212図	弥生中期の高坏の分類 ……	412
第190図	加古川下流域平野における地形帯 ……	374	第213図	弥生中期の器台の分類 ……	413
第191図	美乃利遺跡周辺の地形 ……	376	第214図	複合土器 ……	413
第192図	完新世段丘Ⅱ面の 形成と土地利用 ……	378	第215図	弥生中期の器種構成 ……	418
第193図	弥生前期~中期初頭 壺形土器の分類 (1) ……	381	第216図	器種分類図 (甕) ……	421
第194図	弥生前期~中期初頭 壺形土器の分類 (2) ……	382	第217図	甕法量分類図 ……	422
第195図	弥生前期~中期初頭 壺形土器の分類 (3) ……	383	第218図	甕底部径細分図 ……	422
第196図	弥生前期~中期初頭 壺形土器の分類 (4) ……	384	第219図	甕口縁部細分図 ……	423
第197図	弥生前期~中期初頭 甕形土器の分類 (1) ……	385	第220図	甕底部形態細分図 ……	423
第198図	弥生前期~中期初頭 甕形土器の分類 (2) ……	387	第221図	甕底部形態別比率 ……	424
第199図	弥生前期~中期初頭 甕形土器の分類 (3) ……	388	第222図	器種分類図 (鉢) ……	425
第200図	弥生前期~中期初頭 甕形土器の分類 (4) ……	389	第223図	器種分類図 (壺①) ……	426
第201図	弥生前期~中期初頭 甕形土器の分類 (5) ……	390	第224図	器種分類図 (壺②) ……	427
第202図	弥生前期~中期初頭 鉢形土器の分類 ……	391	第225図	器種分類図 (高坏) ……	428
第203図	弥生前期~中期初頭 甕形土器の分類 ……	392	第226図	高坏脚部の分類と比率 ……	429
第204図	甕の口径/体部最大径の相関図 ……	399	第227図	器種分類図 (器台・その他) ……	430
第205図	弥生時代前期~ 中期初頭の細分案 ……	400	第228図	器種構成比 ……	431
			第229図	供膳形態の土師器と須恵器 ……	433
			第230図	土師器坏・皿法量 ……	434
			第231図	土師器の甕 ……	434
			第232図	土師器の甕の口径分布 ……	435
			第233図	須恵器坏・皿法量 ……	436
			第234図	須恵器甕の口径分布 ……	437
			第235図	中世土師器の分類 (1) ……	440
			第236図	中世土師器の分類 (2) ……	441
			第237図	中世須恵器の分類 ……	442
			第238図	中世土器の変遷 (1) ……	446
			第239図	中世土器の変遷 (2) ……	447
			第240図	中世土器の器種構成 ……	448
			第241図	各時期の石器 ……	451
			第242図	各時期の石鏝 ……	452

第243図	石鍬の長ささと重さと幅	453	第275図	第1期の遺構 (I~III区)	503
第244図	石器集成図 (1)	458	第276図	第2期の遺構 (I~III区)	503
第245図	石器集成図 (2)	459	第277図	第3期の遺構 (IV・V区)	504
第246図	石器集成図 (3)	460	第278図	第3期の遺構 (I~III区)	505
第247図	石器集成図 (4)	461	第279図	第4期の遺構 (IV・V区)	506
第248図	井戸材樹種比	463	第280図	第4期の遺構 (I~III区)	507
第249図	SE01模式図	464	第281図	第5期の遺構 (IV・V区)	508
第250図	出土瓦拓影	466	第282図	第5期の遺構 (I~III区)	509
第251図	美乃利遺跡出土金属製品	467	第283図	第6期の遺構 (IV・V区)	510
第252図	第4面水田跡の面積分布 (1)	470	第284図	第6期の遺構 (I~III区)	511
第253図	第4面水田跡の面積分布 (2)	471	第285図	第7期の遺構 (IV・V区)	512
第254図	第4面水田跡と等高線 (IV・V区)	472	第286図	第7期の遺構 (I~III区)	513
第255図	第4面水田跡の広狭面積の分布 (IV・V区)	472	第287図	第8期の遺構 (IV・V区)	514
第256図	第4面水田跡と等高線 (I~III区)	473	第288図	第8期の遺構 (I~III区)	515
第257図	第4面水田跡の広狭面積の分布 (I~III区)	473	第289図	第9期の遺構 (IV・V区)	516
第258図	第3面水田跡の面積分布	474	第290図	第9期の遺構 (I~III区)	517
第259図	第3面水田跡と等高線 (I~III区)	475	第291図	第10期の遺構 (IV・V区)	518
第260図	第3面水田跡の広狭面積の分布 (I~III区)	475	第292図	第10期の遺構 (I~III区)	519
第261図	中央土坑分類図	480	第293図	第11期の遺構 (IV・V区)	520
第262図	主柱穴変遷図	481	第294図	第12期の遺構 (IV・V区)	520
第263図	柱間変遷図	481	第295図	第11期の遺構 (I~III区)	521
第264図	床面積変遷図	482	第296図	第12期の遺構 (I~III区)	521
第265図	柱間・床面積度数分布図	482	第297図	古古川平野左岸の残存条里地割	522
第266図	床面積・柱間相関図	483	第298図	美乃利遺跡周辺の残存条里地割	523
第267図	主柱数・床面積相関図	484	第299図	第1期	524
第268図	住居跡変遷図	485	第300図	第2期	525
第269図	畝の変遷	488	第301図	第3期	526
第270図	畝の微地形	489	第302図	第4期	527
第271図	畝横断面図	489	第303図	第5期	528
第272図	完新世段丘と井戸と畝	491	第304図	第6期	529
第273図	第1期の遺構 (IV・V区)	502	第305図	第7期	530
第274図	第2期の遺構 (IV・V区)	502	第306図	第8期	531
			第307図	第9期	532
			第308図	第10期	533
			第309図	第11期	534
			第310図	第12期	535
			第311図	第12期以降	536
			第312図	美乃利遺跡周辺の小字	540

目 次

第1表 I区第3面(2) 水田跡一覽表 (1) …… 54	第26表 美乃利遺跡出土サヌカイト製造物の元素比分析結果 (1) …… 322
第2表 I区第3面(2) 水田跡一覽表 (2) …… 55	第27表 美乃利遺跡出土サヌカイト製造物の元素比分析結果 (2) …… 323
第3表 I区第4面 水田跡一覽表 (1) …… 58	第28表 美乃利遺跡出土サヌカイト製造物の原産地推定結果 (1) …… 324
第4表 I区第4面 水田跡一覽表 (2) …… 59	第29表 美乃利遺跡出土サヌカイト製造物の原産地推定結果 (2) …… 325
第5表 I区第4面 水田跡一覽表 (3) …… 60	第30表 美乃利遺跡出土サヌカイト製造物の原産地推定結果 (3) …… 326
第6表 I区第4面 水田跡一覽表 (4) …… 61	第31表 美乃利遺跡出土の弥生時代各時期のサヌカイト製造物の原産地別頻度分布 …… 327
第7表 II区第3面 水田跡一覽表 …… 72	第32表 美乃利遺跡出土須恵器・瓦の分析データ (1) …… 337
第8表 II区第4面 水田跡一覽表 …… 73	第33表 美乃利遺跡出土須恵器・瓦の分析データ (2) …… 338
第9表 III区第3面 水田跡一覽表 …… 106	第34表 樹種同定サンプル一覽表 (1) …… 343
第10表 III区第4面 水田跡一覽表 (1) …… 108	第35表 樹種同定サンプル一覽表 (2) …… 344
第11表 III区第4面 水田跡一覽表 (2) …… 109	第36表 北部九州及び韓国と比較・対照遺跡の炭化米粒特性 …… 350
第12表 隅柱計測表 …… 126	第37表 稲粒特性の指数、指数別階級値及び特性の表現法 …… 351
第13表 横棧計測表 …… 126	第38表 稲粒の粒長・粒幅指数による粒型分類 …… 351
第14表 縦板計測表 …… 128	第39表 美乃利遺跡の炭化米粒特性 …… 353
第15表 IV区第4面 水田跡一覽表 (1) …… 200	第40表 美乃利遺跡の炭化米粒の粒型分布 (1) …… 355
第16表 IV区第4面 水田跡一覽表 (2) …… 201	第41表 美乃利遺跡の炭化米粒の粒型分布 (2) …… 356
第17表 V区第4面 水田跡一覽表 (1) …… 314	第42表 淡青色ガラス小玉片の分析結果 …… 360
第18表 V区第4面 水田跡一覽表 (2) …… 315	第43表 淡青色ガラス小玉の諸物性 …… 360
第19表 V区第4面 水田跡一覽表 (3) …… 316	第44表 試料採取地点の環境の変化 …… 367
第20表 各サヌカイトの原産地における原石群の元素比の平均値 (X) と標準偏差値 (σ) (1) …… 319	第45表 弥生時代前期編年表対照表 …… 393
第21表 各サヌカイトの原産地における原石群の元素比の平均値 (X) と標準偏差値 (σ) (2) …… 320	
第22表 原産地不明の組成の似た遺物で作られた遺物群の元素比の平均値と標準偏差値 …… 320	
第23表 岩屋原産地からのサヌカイト原石66個の分類結果 …… 321	
第24表 和泉・岸和田原産地からのサヌカイト原石72個の分類結果 …… 321	
第25表 和歌山市梅原原産地からのサヌカイト原石21個の分類結果 …… 321	

第46表 逆L字形甕の割合	401	第54表 住居跡一覧表	479
第47表 美乃利遺跡出土 半截竹管紋一覧表	403	第55表 住居跡主要素変遷表	483
第48表 美乃利遺跡出土 山形紋一覧表	403	第56表 美乃利遺跡高一覧表	487
第49表 弥生時代中期の福年案対照表	413	第57表 高遺構一覧表(1)	496
第50表 遺構の時期一覧表	445	第58表 高遺構一覧表(2)	497
第51表 石材鑑定表(サヌカイト以外)	462	第59表 中世絵画資料一覧表(1)	499
第52表 第4面水田跡地区別平均面積	469	第60表 中世絵画資料一覧表(2)	500
第53表 第3面水田跡地区別平均面積	474	第61表 地区別検出面一覧表	501
		第62表 美乃利遺跡における地形環境と 土地利用の変化	537

巻首図版目次

巻首図版 1

加古川下流域平野の地形

巻首図版 2

加古川平野全景

巻首図版 3

美乃利遺跡透景

加古川平野全景

巻首図版 4

美乃利遺跡全景(南から)

美乃利遺跡全景(北東から)

巻首図版 5

SD48(南西から)

SD47(南西から)

巻首図版 6

SE01(南西から)

巻首図版 7

SK33(南から)

SK33出土土器

巻首図版 8

IV区第1面(2) 全景(西から)

IV区第4面 全景(西から)

巻首図版 9

V区第2面 全景(南から)

V区第4面 全景(西から)

巻首図版10

SH15上層土器出土状況

SH15出土土器

巻首図版11

SK180土器出土状況

SK180出土土器

巻首図版12

弥生土器(前期)

巻首図版13

弥生土器(中期)

玉類

巻首図版14

石包丁

巻首図版15

石鏃

石器

巻首図版16

奈良時代の土器

中世土器

图 版 目 次

- 图版1 I区第1面
第1面
- 图版2 I区第2面
第2面
- 图版3 I区第2面
SH01 中央土坑断面 土坑断面
- 图版4 I区第2面
SH01出土石器(1)
- 图版5 I区第2面
SH01出土石器(2) SH01出土石器
- 图版6 I区第2面
SH02 SH02中央土坑断面
- 图版7 I区第2面
SH02柱穴断面
- 图版8 I区第2面
SH02出土石器
- 图版9 I区第2面
SH03 SH03出土石器
SH04出土石器
- 图版10 I区第2面
SH04 中央土坑断面
- 图版11 I区第2面
SH04出土石器
- 图版12 I区第2面
SH05 中央土坑断面
- 图版13 I区第2面
SH05柱穴断面 SH05出土石器 SH05出土玉
- 图版14 I区第2面
SH06 SH06出土石器 SH06出土玉
SH06出土石器 SB01
- 图版15 I区第2面
SB02 SB03 SB04
- 图版16 I区第2面
SB05 SB06 SB07
- 图版17 I区第2面
SK02 SK02出土石器
SK03 SK03出土石器
SK01出土石器
- 图版18 I区第2面
石器溜1出土石器
- 图版19 I区第2面
SD02 SD03 SD14
SD09出土石器 SD11出土石器
SD02出土石器
- 图版20 I区第3面(1)
第3面(1)
- 图版21 I区第3面(1)
SD126 SD128 SD126出土石器
- 图版22 I区第3面(2)
第3面(2)
- 图版23 I区第4面
第4面
- 图版24 II区第1面(1)
第1面(1)
SD15 SD15出土石器
- 图版25 II区第1面(2)
第1面(2)
SD19·20 SD19出土石器
- 图版26 II区第2面
第2面 SD46(1)
- 图版27 II区第2面
SD46(2) SD46出土石器(1)
- 图版28 II区第2面
SD46出土石器(2)
- 图版29 II区第2面
SD46出土石器(3)
- 图版30 II区第2面
SD46出土石器(4)

- 图版31 Ⅱ区第2面
SD46出土土器 (5)
- 图版32 Ⅱ区第2面
SD46出土土器 (6)
SD46出土石器
- 图版33 Ⅱ区第3面 第4面
第3面 第4面
- 图版34 Ⅲ区第1面 (1)
第1面 (1)
- 图版35 Ⅲ区第1面 (2)
第1面 (2)
- 图版36 Ⅲ区第1面 (2)
SB08 SB09
- 图版37 Ⅲ区第1面 (2)
SB10 SB10出土土器
P 1出土土器 P 2出土土器
- 图版38 Ⅲ区第1面 (2)
P 3出土土器 P 4出土土器
土器滴 2 土器滴 2出土土器
土器滴 3 土器滴 3出土土器
- 图版39 Ⅲ区第1面 (2)
SD16 SD16出土土器
SD21 SD23 SD31 SD27
- 图版40 Ⅲ区第1面 (2)
SD21出土土器 (1)
- 图版41 Ⅲ区第1面 (2)
SD21出土土器 (2)
- 图版42 Ⅲ区第1面 (2)
SD21出土土器 (3) SD21出土瓦
- 图版43 Ⅲ区第1面 (2)
SD22出土土器 SD31出土土器
SD23出土土器 SD30出土土器
SD21出土土器 SD33出土土器
鼎 1出土土器
- 图版44 Ⅲ区第1面 (2)
鼎 1
- 图版45 Ⅲ区第2面
第2面
- 图版46 Ⅲ区第2面
SK08 SK08出土土器
- 图版47 Ⅲ区第2面
SK09 SK09出土土器
- 图版48 Ⅲ区第2面
SD47 SD13
- 图版49 Ⅲ区第2面
SD48 SD48下層出土土器 (1)
- 图版50 Ⅲ区第2面
SD48下層出土土器 (2)
- 图版51 Ⅲ区第2面
SD48(東)上層出土土器
SD48(西)下層出土土器
SD48(西)上層出土土器 (1)
- 图版52 Ⅲ区第2面
SD48(西)上層出土土器 (2)
- 图版53 Ⅲ区第2面
SD48(東)上層出土土器 (1)
- 图版54 Ⅲ区第2面
SD48(東)上層出土土器 (2)
SD48上層出土土器
- 图版55 Ⅲ区第2面
SD48(西)上層出土土器 (1)
- 图版56 Ⅲ区第2面
SD48(西)上層出土土器 (2)
- 图版57 Ⅲ区第2面
SD48出土石器
- 图版58 Ⅲ区第3面
第3面
- 图版59 Ⅲ区第3面
SK13 SX01
SK12出土土器 SK13出土土器
- 图版60 Ⅲ区第4面
第4面
- 图版61 Ⅳ区第1面 (1)
第1面 (1)
- 图版62 Ⅳ区第1面 (2)
第1面 (2)

- 图版63 IV区第1面(2)
SB11 SB12
- 图版64 IV区第1面(2)
SB13 SB22
- 图版65 IV区第1面(2)
SK15出土土器 SK16出土土器
SX02 SX02出土土器
- 图版66 IV区第1面(2)
SE01
- 图版67 IV区第1面(2)
SE01井戸材(1)
- 图版68 IV区第1面(2)
SE01井戸材(2)
- 图版69 IV区第1面(2)
SE01水溜
- 图版70 IV区第1面(2)
SE01出土遗物 SD17 SD38 SD40
SD17出土土器 SD36出土土器
SD27出土土器 SD37出土土器
SD36出土金属器
- 图版71 IV区第1面(2)
墓1 墓1出土土器
- 图版72 IV区第1面(2)
墓2 墓3
- 图版73 IV区第1面(2)
墓4
- 图版74 IV区第1面(2)
墓4出土土器 墓4出土瓦
- 图版75 IV区第2面
第2面
- 图版76 IV区第2面
住居跡
- 图版77 IV区第2面
SH07 SH07中央土坑
SH07出土土器 SH07出土石器
- 图版78 IV区第2面
SH08 SH08中央土坑
SH08出土土器 SH08出土石器
- 图版79 IV区第2面
SH09 SH09土坑 SH09出土土器
- 图版80 IV区第2面
掘立柱建物跡
- 图版81 IV区第2面
SB15 SB16
- 图版82 IV区第2面
SB17 SB18
- 图版83 IV区第2面
SB19 SB20 SB21
- 图版84 IV区第2面
SB14 SB23
- 图版85 IV区第2面
SB24 SB25
- 图版86 IV区第2面
SB26
- 图版87 IV区第2面
SB27 SB28 SB28出土土器
- 图版88 IV区第2面
SB18柱穴断面 SB16出土土器
SB17出土土器 SB18出土土器
- 图版89 IV区第2面
P17出土土器 P18出土土器 P15出土土器
P21出土土器 P14出土土器 P19出土土器
P13出土土器 P12出土土器 P20出土土器
P11出土土器 P16出土土器 P17出土土器
- 图版90 IV区第2面
土坑
- 图版91 IV区第2面
SK19 SK19出土土器(1)
- 图版92 IV区第2面
SK19出土土器(2)
- 图版93 IV区第2面
SK19出土土器(3) SK22出土土器
- 图版94 IV区第2面
SK23出土土器 SK23出土石器
- 图版95 IV区第2面
SK28 SK28出土土器 SK28出土石器

- 图版96 IV区第2面
SK31 SK31出土石器 SK31出土石器
SK32出土石器
- 图版97 IV区第2面
SK33
- 图版98 IV区第2面
SK33 SK33出土石器
- 图版99 IV区第2面
SK37出土石器 SK45出土石器
SK40出土石器
- 图版100 IV区第2面
SK38 SK38出土石器
SK50出土石器
- 图版101 IV区第2面
SK47 SK47出土石器
SK48 SK48出土石器
- 图版102 IV区第2面
SK49 SK49出土石器
SK56出土石器 (1)
- 图版103 IV区第2面
SK56出土石器 (2) SK60出土石器
- 图版104 IV区第2面
SK55 SK55出土石器
- 图版105 IV区第2面
SK59 SK59出土石器 (1)
- 图版106 IV区第2面
SK59出土石器 (2) SK59出土石器
- 图版107 IV区第2面
溝
- 图版108 IV区第2面
SD63 SD63出土石器
SD55出土石器 SD66出土石器
SD82出土石器 SD71出土石器
- 图版109 IV区第2面
SD83 SD83出土石器
SD84出土石器 SD61出土石器
SD71出土石器 SD85出土石器
SD94出土石器
- 图版110 IV区第2面
SD86 SD86出土石器 (1)
- 图版111 IV区第2面
SD86出土石器 (2) SD86出土瓦
- 图版112 IV区第2面
SD90出土石器 SD91出土石器
SD95出土石器 SD93出土石器
SD99 SD99出土石器
- 图版113 IV区第2面
SD96出土石器 SD100出土石器
- 图版114 IV区第3面
第3面
- 图版115 IV区第3面
P22出土石器 SK61
- 图版116 IV区第3面
SK61出土石器 SK62出土石器
SK79出土石器
- 图版117 IV区第4面
第4面
- 图版118 V区第1面 (1)
第1面 (1)
- 图版119 V区第1面
SK226 SD17
SD17出土石器·瓦 SD18出土瓦
- 图版120 V区第1面 (2)
第1面 (2)
- 图版121 V区第1面 (1)
水田 (上層)
- 图版122 V区第1面 (1)
水田 (下層)
- 图版123 V区第2面
第2面
- 图版124 V区第2面
住居跡
- 图版125 V区第2面
SH10 SH12
- 图版126 V区第2面
SH11 SH11中央土坑 SH11出土石器

- 图版127 V区第2面
SH13 SH13中央土坑 SH13出土土器
- 图版128 V区第2面
SH14 SH14中央土坑
- 图版129 V区第2面
SH14出土土器 SH14出土土器
- 图版130 V区第2面
SH15 SH15中央土坑
SH15中央土坑 中央土坑出土土
中央土坑出土土器
- 图版131 V区第2面
SH15柱穴(1)
P1出土土器 P2出土土器
- 图版132 V区第2面
SH15柱穴(2)
P3出土土器 P4出土土器
- 图版133 V区第2面
SH15上層
- 图版134 V区第2面
SH15上層(1)
- 图版135 V区第2面
SH15上層(2)
- 图版136 V区第2面
SH15下層出土土器 SH15上層出土土器(1)
- 图版137 V区第2面
SH15上層出土土器(2)
- 图版138 V区第2面
SH15上層出土土器(3)
- 图版139 V区第2面
SH15上層出土土器(4)
- 图版140 V区第2面
SH15上層出土土器(5)
- 图版141 V区第2面
SH15上層出土土器(6)
- 图版142 V区第2面
SH15上層出土土器(7)
- 图版143 V区第2面
SH15上層出土土器(8)
- 图版144 V区第2面
SH15上層出土土器(9)
SH15上層出土土器
- 图版145 V区第2面
SH16 SH16中央土坑 SH16出土土器
- 图版146 V区第2面
獨立柱建物跡
- 图版147 V区第2面
SB29 SB30 SB31
SB32 SB34 SB33
- 图版148 V区第2面
SB35 SB36 SB37 SB38
- 图版149 V区第2面
SB39 SB40
SB31 P1出土土器
SB34 P5出土土器
- 图版150 V区第2面·第3面
P31出土土器 P28出土土器 P26出土土器
P32出土土器 P25出土土器 P33出土土器
P27出土土器 P30出土土器
- 图版151 V区第2面
土坑
- 图版152 V区第2面
SK94出土土器 SK99出土土器
SK100出土土器 SK106出土土器
- 图版153 V区第2面
SK108出土土器 SK115出土土器
SK116出土土器 SK125出土土器
SK117出土土器 SK127出土土器
- 图版154 V区第2面
SK129出土土器
SK130 SK130出土土器 SK130出土土器
- 图版155 V区第2面
SK132出土土器 SK143出土土器
SK136出土土器 SK145出土土器
SK153出土土器
- 图版156 V区第2面
SK135 SK135出土土器

- 图版157 V区第2面
SK158 SK158出土土器
- 图版158 V区第2面
SK161 SK161出土土器
- 图版159 V区第2面
SK163出土土器 SK164出土土器
SK165出土土器 SK157出土石製品
SK139出土石器 SK142出土石器
- 图版160 V区第2面
SK167 SK167出土土器(1)
- 图版161 V区第2面
SK167出土土器(2)
- 图版162 V区第2面
SK167出土土器(3)
- 图版163 V区第2面
SK171 SK171出土土器(1)
- 图版164 V区第2面
SK171出土土器(2) SK172出土土器
SK176出土土器 SK176出土石器
SK178出土石器
- 图版165 V区第2面
SK180 SK180出土土器(1)
- 图版166 V区第2面
SK180出土土器(2)
- 图版167 V区第2面
SK180出土土器(3)
- 图版168 V区第2面
SK185出土土器 SK186出土土器
SK195出土土器 SK187出土土器
SK196出土土器(1)
- 图版169 V区第2面
SK196出土土器(2) SK199出土土器
- 图版170 V区第2面
SK198出土土器(1)
- 图版171 V区第2面
SK198出土土器(2)
- 图版172 V区第2面
SK200出土土器 SK197出土土器
- 图版173 V区第2面
墓
- 图版174 V区第2面
SX03 SX03出土土器
SX04 SX04出土土器
- 图版175 V区第2面
溝
- 图版176 V区第2面
SD98
- 图版177 V区第2面
SD98出土土器(1)
- 图版178 V区第2面
SD98出土土器(2)
- 图版179 V区第2面
SD98出土土器(3)
- 图版180 V区第2面
SD98出土瓦
- 图版181 V区第2面
SD111 SD111出土土器(1)
- 图版182 V区第2面
SD111出土土器(2)
- 图版183 V区第2面
SD113 SD113出土土器 SD113出土石器
- 图版184 V区第2面
SD114出土土器(1)
- 图版185 V区第2面
SD114出土土器(2) SD118出土土器
- 图版186 V区第2面
SD119出土土器 SD120出土土器
SD121出土土器 SD124出土土器
SD119出土石器
- 图版187 V区第3面
第3面
- 图版188 V区第3面
SK201出土土器 SK216出土土器
SK217出土土器
- 图版189 V区第4面
第4面

写真図版目次

— 遺 構 編 —

- 写真図版1 美乃利遺跡
美乃利遺跡 (空中写真)
- 写真図版2 美乃利遺跡
美乃利遺跡 (南西から)
美乃利遺跡 (南から)
美乃利遺跡 (北西から)
- 写真図版3 I区第1面
第1面全景 (東から)
- 写真図版4 I区第2面
第2面全景 (東から)
- 写真図版5 I区第2面
第2面全景 (西から)
住居跡群 (東から) 住居跡群 (西から)
- 写真図版6 I区第2面
SH01 (西から) SH01 (西から)
SH01 (南から)
- 写真図版7 I区第2面
SH01 中央土坑 (北から)
SH01 中央土坑 (西から)
SH01 P4 SH01 P6
- 写真図版8 I区第2面
SH02 (南から) SH02 (南から)
SH02 (西から)
- 写真図版9 I区第2面
SH02 中央土坑 (検出前 南から)
SH02 中央土坑 (検出後 南から)
SH02 P4 SH02 P3
- 写真図版10 I区第2面
SH03 (西から) SH03 (南から)
SH03 土坑1 (南から)
- 写真図版11 I区第2面
SH04 (東から) SH04 (南から)
SH04 (東から)
- 写真図版12 I区第2面
SH04 石斧 (S44) 出土状況 (南から)
SH04 中央土坑B (南から)
SH04 中央土坑B断面 (東から)
- 写真図版13 I区第2面
SH05 (検出中) SH05 (西から)
SH05 (南から)
- 写真図版14 I区第2面
SH05 中央土坑 (南から)
SH05 中央土坑B (西から)
SH05 中央土坑A (西から)
SH05 菅玉 (J1) 出土状況 (東から)
- 写真図版15 I区第2面
SH05 P1 (西から)
SH05 P3 (西から) SH06 (南西から)
- 写真図版16 I区第2面
SK02 (南西から) SK03 (北西から)
SD09 断面 (南から)
- 写真図版17 I区第2面
SD02・SD03 (南から)
SD03 断面 (南から) SD02 断面 (南から)
SD01 断面 (南から) SD04 断面 (西から)
- 写真図版18 I区第3面
第3面全景 (東から)
- 写真図版19 I区第3面 (2)
水田跡 (西から) 水田跡 (東から)
水田跡 (南から)
- 写真図版20 I区第4面
第4面全景 (東から)
- 写真図版21 I区第4面
水田跡 (東から) 水田跡 (南から)
水田跡 (西から)

- 写真図版22 II区第1面(1)
第1面(1)全景(南西から)
- 写真図版23 II区第1面(2)
第1面(2)全景(西から)
第1面(2)全景(北東から)
第1面(2)全景(南西から)
- 写真図版24 II区第2面
第2面全景(南西から)
- 写真図版25 II区第2面
SD46(南西から) SD46 断面(南西から)
SD46 全景(南西から)
- 写真図版26 II区第2面・第3面
SD14 断面(南西から)
第3面全景(北東から)
第3面全景(南西から)
- 写真図版27 II区第4面
第4面検出中(北東から)
水田跡(南西から) 水田跡(北東から)
- 写真図版28 III区第1面(1)
第1面(1)全景(北東から) 龜溝(北から)
- 写真図版29 III区第1面(2)
第1面(2)全景(北東から)
- 写真図版30 III区第1面(2)
第1面(2)全景(南西から)
第1面(2)全景(北西から)
- 写真図版31 III区第1面(2)
SD16 断面(西から)
土器溜2(南から) 土器溜3(南から)
- 写真図版32 III区第1面(2)
SD21 土器出土状況(北東から)
SD21 断面(南東から)
SD21 断面(南東から)
- 写真図版33 III区第1面(2)
畠1(西から) 畠1(東から)
- 写真図版34 III区第2面
第2面全景(南東から)
- 写真図版35 III区第2面
第2面全景(南東から)
第2面全景(北西から)
第2面北部(西から)
- 写真図版36 III区第2面
SD47 全景(南西から)
SD47 断面(南西から)
- 写真図版37 III区第2面
SD48(東)上層(1)(南西から)
SD48(東)上層(2)(南西から)
SD48(東)上層(2)断面(南西から)
- 写真図版38 III区第2面
SD48上層(3)(南西から)
SD48(東)上層(3)断面(南西から)
SD48(西)上層(3)断面(南西から)
- 写真図版39 III区第2面
SD48(西)上層土器出土状況(南東から)
SD48(西)上層土器出土状況(北西から)
SD48(東)上層土器出土状況(東から)
SD48(東)上層土器出土状況(西から)
- 写真図版40 III区第2面
SD48 掘削状況(南西から)
SD48 上層(南西から)
- 写真図版41 III区第2面
SD48 下層断面(南西から)
SD48 全景(南西から)
- 写真図版42 III区第2面
SK08(南から)
SK09(南西から) SK09(南東から)
- 写真図版43 III区第3面
土坑群(西から) SX01(北東から)
- 写真図版44 III区第3面
水田跡(南東から) 水田跡(南から)
- 写真図版45 III区第4面
第4面全景(北東から)
- 写真図版46 III区第4面
水田跡(南西から) 水田跡(北東から)

- 写真図版47 III区第4面
水田跡(南から) 水田跡(北から)
- 写真図版48 IV区第1面(1)
第1面(1)全景(南東から)
第1面(1)全景(北西から) 龜澤(北から)
- 写真図版49 IV区第1面(2)
第1面(2)全景(南東から)
- 写真図版50 IV区第1面(2)
第1面(2)南部(南西から)
SK15 断面(西から)
SK16 断面(西から)
- 写真図版51 IV区第1面(2)
SD17 断面(南から) SD17 断面(西から)
SD27 断面(西から)
- 写真図版52 IV区第1面(2)
SE01(南西から) SE01(北東から)
- 写真図版53 IV区第1面(2)
SE01 掘削作業(南西から)
SE01 断割後(1)(南西から)
SE01 断割後(2)(南西から)
SE01 水溜(南西から) SE01 木組(西から)
- 写真図版54 IV区第1面(2)
SE01 水溜 SE01 隅柱 SE01 縦板
- 写真図版55 IV区第1面(2)
SE01 横棧
- 写真図版56 IV区第1面(2)
SE01 隅柱
- 写真図版57 IV区第1面(2)
SX02 検出中(北東から)
SX02 512 出土状況(南から)
SX02 512 出土状況(西から)
SX02(西から)
- 写真図版58 IV区第1面(2)
畠1-畠4 全景(西から)
畠1-畠4 全景(北東から)
- 写真図版59 IV区第1面(2)
畠4(南から) 畠4(南東から)
畠4 畝間溝断面(南から)
- 写真図版60 IV区第1面(2)
SB11(西から) SB12(西から)
SB13(南から) SB22(南から)
- 写真図版61 IV区第2面
第2面全景(南東から)
- 写真図版62 IV区第2面
第2面全景(北西から)
第2面全景(南東から)
- 写真図版63 IV区第2面
SH07(南東から)
SH07 中央土坑(南東から)
SH07 中央土坑断面(南東から)
- 写真図版64 IV区第2面
SH07(南東から)
SH08 中央土坑(北東から)
SH09(南から)
- 写真図版65 IV区第2面
SB15(南西から) SB18(南西から)
SB26(北東から)
- 写真図版66 IV区第2面
SK19(北西から) SK19(南東から)
SK30(南から) SK27(南から)
- 写真図版67 IV区第2面
SK28(北東から)
SK28 土器出土状況(北西から)
SK28 584 出土状況(北東から)
SK31(南西から)
- 写真図版68 IV区第2面
SK33上面(南から) SK33上面(東から)
SK33上面(南から) SK33下面(東から)
- 写真図版69 IV区第2面
SK38(北から) SK48(東から)
SK49(南西から) SK50(北から)
- 写真図版70 IV区第2面
SK55 上層(北東から)
SK55 下層(北東から)
SK59(東から)
SK59 遺物出土状況(東から)

- 写真図版71 IV区第2面
SD65 断面(西から) SD83 断面(南から)
SD66 土器出土状況(西から)
SD98 断面(北西から)
- 写真図版72 IV区第2面
SD86 断面(南西から)
SD86 実測状況(西から)
SD84 660 出土状況(北東から)
SD84 660 出土状況(北西から)
- 写真図版73 IV区第3面
第3面全景(南東から)
- 写真図版74 IV区第3面
第3面全景(南東から)
第3面全景(北西から)
- 写真図版75 IV区第3面
SK61(北東から) SK61(西から)
SK79(北から) SK81(北から)
- 写真図版76 IV区第4面
第4面全景(南東から)
- 写真図版77 IV区第4面
第4面全景(北西から)
水田跡(南東から)
水田跡(西から)
- 写真図版78 V区第1面(1)
第1面(1)全景(南東から)
- 写真図版79 V区第1面(1)
第1面全景(北西から)
SD17 断面(南から)
SK226(西から)
- 写真図版80 V区第1面(2)
第1面(2)全景(南東から)
- 写真図版81 V区第1面(2)
第1面(2)全景(南東から)
第1面(2)全景(北西から)
- 写真図版82 V区第1面(2)
SD18 断面(西から)
水田 検出前(北から) 水田(上層)(北から)
水田(下層)(北から)
- 写真図版83 V区第2面
第2面全景(南東から)
- 写真図版84 V区第2面
第2面検出状況(北西から)
第2面全景(北西から)
第2面全景(南東から)
- 写真図版85 V区第2面
SH10(南から) SH12(北から)
SH12 中央土坑(北から)
- 写真図版86 V区第2面
SH11(南から) SH11 中央土坑(東から)
SH11 中央土坑(東から)
- 写真図版87 V区第2面
SH13(南東から)
SH13 中央土坑断面(南東から)
SH13 中央土坑(南東から)
- 写真図版88 V区第2面
SH14(南から) SH14(東から)
SH14 P12(東から)
SH14 中央土坑(東から)
- 写真図版89 V区第2面
SH15 上層土器検出状況(南から)
SH15 上層(西から)
SH15 上層土器出土状況(南から)
- 写真図版90 V区第2面
SH15(西から) SH15 中央土坑(西から)
SH15 中央土坑内土器出土状況(西から)
SH15 P2 断面(西から)
SH15 P4 断面(東から)
- 写真図版91 V区第2面
SH16 中央土坑(東から) SH16(西から)
SH16(南から)
- 写真図版92 V区第2面
柱穴断ち割り状況
P28(東から) P28(南から)
- 写真図版93 V区第2面
SK94 断面(北から) SK99(南西から)
SK99 土器出土状況(南西から)

- 写真図版94 V区第2面
SK130 (南西から) SK132 (南から)
SK135 (南から)
- 写真図版95 V区第2面
SK143 (東から) SK153 断面 (北から)
SK158 (南から) SK161 (南から)
- 写真図版96 V区第2面
SK167 (南西から)
SK167 土器出土状況 (東から)
SK167 1154 出土状況 (北西から)
SK167 土器出土状況
- 写真図版97 V区第2面
SK171 (北西から) SK173 断面 (南から)
SK174 断面 (北から)
- 写真図版98 V区第2面
SK180 検出状況 (南から)
SK180 (南東から)
SK180 土器出土状況 (南東から)
- 写真図版99 V区第2面
SK180 土器出土状況 (南東から)
SK180 最下層 (西から)
SK180 最下層土器出土状況 (西から)
- 写真図版100 V区第2面
SX03・SX04 (南から) SX03 (西から)
SX04 (西から)
- 写真図版101 V区第2面
SD98 断面 (北西から)
SD98 断面 (東から)
SD103 断面 (南西から)
- 写真図版102 V区第2面
SD111 断面 (北から)
SD111 土器出土状況 (東から)
SD111 土器出土状況 (南から)
- 写真図版103 V区第2面
SD113 断面 (東から)
SD113 土器出土状況 (南から)
SD114 土器出土状況 (東から)
SD114 土器出土状況 (東から)
- 写真図版104 V区第3面
第3面全景 (南東から)
- 写真図版105 V区第3面
第3面全景 (南東から)
SK226 (西から) SK220 (南西から)
SK221 (東から) SK222 (東から)
- 写真図版106 V区第4面
第4面全景 (南東から)
- 写真図版107 V区第4面
第4面全景 (南東から)
第4面全景 (北西から)
- 写真図版108 V区第4面
水田跡検出作業 (北西から)
水田跡 (東から)
水田跡 (東から)

————— 遺物編・土器 —————

- 写真図版109 I区第2面
SH01出土土器
- 写真図版110 I区第2面
SH01出土土器 SH02出土土器
SH05出土土器
- 写真図版111 I区第2面
SH05出土土器 SK03出土土器
土器溜1出土土器 SD09出土土器
SD11出土土器
- 写真図版112 II区第1面
第1面出土土器 第1面出土瓦
SD19出土土器

- 写真图版113 Ⅱ区第2面
SD46出土土器
- 写真图版114 Ⅱ区第2面
SD46出土土器
- 写真图版115 Ⅱ区第2面
SD46出土土器
- 写真图版116 Ⅱ区第2面
SD46出土土器
- 写真图版117 Ⅱ区第2面
SD46出土土器
- 写真图版118 Ⅱ区第2面
SD46出土土器 第2面出土土器
- 写真图版119 Ⅲ区第1面
P1出土土器 P3出土土器 P4出土土器
土器溜2出土土器
- 写真图版120 Ⅲ区第1面
土器溜3出土土器
SD21出土土器
- 写真图版121 Ⅲ区第1面
SD21出土土器
SD21出土瓦
- 写真图版122 Ⅲ区第1面
SD21出土瓦 SD22出土土器
SD23出土土器 第1面出土土器
第1面出土瓦
- 写真图版123 Ⅲ区第2面
SK09出土土器 SD48出土土器
- 写真图版124 Ⅲ区第2面
SD48出土土器
- 写真图版125 Ⅲ区第2面
SD48出土土器
- 写真图版126 Ⅲ区第2面
SD48出土土器
- 写真图版127 Ⅲ区第2面
SD48出土土器
- 写真图版128 Ⅲ区第2面
SD48出土土器
- 写真图版129 Ⅳ区第1面
SX02出土土器 SE01出土土器
SD27出土土器 SD37出土土器
高1出土土器 高4出土土器
高4出土瓦 第1面出土土器
- 写真图版130 Ⅳ区第1面
第1面出土土器 第1面出土瓦
- 写真图版131 Ⅳ区第2面
SH08出土土器 SB17出土土器
P16出土土器 SK19出土土器 P12出土土器
P13出土土器
- 写真图版132 Ⅳ区第2面
SK19出土土器 SK22出土土器
SK23出土土器
- 写真图版133 Ⅳ区第2面
SK28出土土器 SK33出土土器
SK37出土土器
- 写真图版134 Ⅳ区第2面
SK37出土土器 SK50出土土器
SK56出土土器 SK49出土土器
- 写真图版135 Ⅳ区第2面
SK55出土土器 SK56出土土器
SK60出土土器
- 写真图版136 Ⅳ区第2面
SK59出土土器 SD63出土土器
SD71出土土器 SD84出土土器
- 写真图版137 Ⅳ区第2面
SD86出土土器
- 写真图版138 Ⅳ区第2面
SD86出土土器 SD86出土瓦 SD90出土土器
- 写真图版139 Ⅳ区第2面
SD93出土土器 SD96出土土器
SD99出土土器 第2面出土土器
- 写真图版140 Ⅳ区第2面
第2面出土土器
- 写真图版141 Ⅳ区第3面
SK61出土土器

- 写真图版142 V区第2面
SH15出土土器
- 写真图版143 V区第2面
SH15出土土器
- 写真图版144 V区第2面
SH15上层出土土器
- 写真图版145 V区第2面
SH15上层出土土器
- 写真图版146 V区第2面
SH15上层出土土器
- 写真图版147 V区第2面
SH15上层出土土器
- 写真图版148 V区第2面
SH15上层出土土器
- 写真图版149 V区第2面
SH15上层出土土器
- 写真图版150 V区第2面
SB34出土土器 P31出土土器 P28出土土器
SK94出土土器 SK99出土土器
SK100出土土器 SK108出土土器
- 写真图版151 V区第2面
SK116出土土器 SK125出土土器
SK117出土土器 SK127出土土器
SK130出土土器 SK132出土土器
SK136出土土器
- 写真图版152 V区第2面
SK143出土土器 SK153出土土器
SK135出土土器 SK158出土土器
- 写真图版153 V区第2面
SK161出土土器 SK164出土土器
SK167出土土器
- 写真图版154 V区第2面
SK167出土土器
- 写真图版155 V区第2面
SK167出土土器
- 写真图版156 V区第2面
SK167出土土器 SK171出土土器
SK185出土土器 SK187出土土器
- 写真图版157 V区第2面
SK180出土土器 SK180出土土器
- 写真图版158 V区第2面
SK180出土土器
- 写真图版159 V区第2面
SK180出土土器
SK196出土土器 SK199出土土器
- 写真图版160 V区第2面
SK198出土土器
- 写真图版161 V区第2面
SK198出土土器 SX04出土土器
SD98出土土器
- 写真图版162 V区第2面
SD98出土土器
- 写真图版163 V区第2面
SD98出土土器
- 写真图版164 V区第2面
SD98出土土器
- 写真图版165 V区第2面
SD98出土土器
- 写真图版166 V区第2面
SD98出土土器
- 写真图版167 V区第2面
SD98出土土器 SD98出土瓦
- 写真图版168 V区第2面
SD98出土瓦
- 写真图版169 V区第2面
SD111出土土器
- 写真图版170 V区第2面
SD111出土土器 SD113出土土器
- 写真图版171 V区第2面
SD113出土土器 SD114出土土器
- 写真图版172 V区第2面
SD114出土土器 SD118出土土器
SD121出土土器
- 写真图版173 V区第3面
SK201出土土器 SK216出土土器

—— 遺物編 · 石器 ——

写真図版174 I区第2面

SH01出土石器

写真図版175 I区第2面

SH04出土石器

写真図版176 I区第2面・第3面

SH06出土石器 第2面出土石器
第3面出土石器

写真図版177 II区第2面

SD46出土石器

写真図版178 II区第2面

SD46出土石器

写真図版179 III区第1面・第2面

SD21出土石器 SD33出土石器

SD48出土石器

写真図版180 III区第2面

SD48出土石器

写真図版181 III区第2面

SD48出土石器 第2面出土石器

写真図版182 IV区第2面

SH07出土石器 SH08出土石器

P17出土石器 SK23出土石器

SK28出土石器

写真図版183 IV区第2面

SK31出土石器 SK32出土石器

写真図版184 IV区第2面

SK59出土石器 SD100出土石器

写真図版185 IV区第2面

第2面出土石器

写真図版186 IV区第2面

第2面出土石器

写真図版187 V区第2面

SH11出土石器 SH14出土石器

SH15出土石器

写真図版188 V区第2面・第3面

SH14出土石器 SH15上層出土石器

P30出土石器

写真図版189 V区第2面

SK130出土石器

写真図版190 V区第2面

SK157出土石器 SK139出土石器

SK176出土石器

写真図版191 V区第2面

SK178出土石器 SD113出土石器

SD119出土石器 第2面出土石器

写真図版192 V区第2面

第2面出土石器

写真図版193 V区第2面

第2面出土石器

写真図版194 V区第2面・第4面

第2面出土石器 第4面出土石器

第1章 美乃利遺跡

第1節 地理的環境

加古川市 美乃利遺跡の所在する加古川市は、加古川の下流域の加古川平野に形成された都市で、兵庫県南部のはほぼ中央に位置する。南側を瀬戸内海に臨み、東側を加古郡稲美町・美濃郡播磨町、北側を加西市・小野市、北東側を三木市、西側を高砂市・姫路市とそれぞれ接している（第1図）。

東播 現在の兵庫県は、但馬国・丹波国・播磨国・摂津国・淡路国の旧5国からなり、現在においてもこれらの旧国単位の地域的結び付きは強い。加古川市は上記5国のなかで播磨国にあたる。市川（第1図）を境に播磨地域を東西に分けて「東播磨（東播）」「西播磨（西播）」と呼称するが、加古川市は「東播」地域の中心的位置を占めている。

加古川市の中心を流れる加古川を境にして西側は印南郡、東側は加古郡であったが、昭和25年に加古郡の加古川・神野・野口・平岡・尾上の5ヶ町村が合併し、加古川市として市制の施行を開始している。その後、昭和30年代に北部（印南郡）の一部を合併し、最後に昭和54年に志方町を合併し、現在の加古川市となっている。そして、現在では人口約23万強の都市となっている。



第2図 加古川市の位置



第3図 大正6年の現加古川市域

宿場町 加古川市は、江戸時代以来「加古川宿」として東播地区有数の宿場町として栄えてきた町である。これは、当時から当地が交通の要衝としての機能を有していたからである。

ひとつは、旧山陽道に沿った東西交通の通過地点であり、また、加古川を通り氷上郡氷上町本郷まで高瀬船が往来し、加古川の渡しに代表される水上交通の起点であった。ただし、明治以降になると、加古川に橋が架かり、渡し船が無くなるとともに宿場町としての機能が失われていった。また、高瀬船についても、大正12年に播丹鉄道（現JR加古川

線・谷川線)が開通するとともに衰退していった。宿場町としての機能の衰退後、明治31年以降毛織物業が発達した。今日では、毛織物業に変わり、臨海部を中心に鉄鋼業が盛んになってきている。

また、地理的にみて、神戸と兵庫県第2の都市である姫路市とを結ぶ中継地点に位置し、両都市間を結ぶJR山陽本線・山陽電鉄・加古川バイパス・明姫幹線などが通っている。さらに、加古川沿いに西脇市を經由してJR福知山線谷川駅(水上郡山南町)とを結ぶJR加古川線・谷川線の起点ともなっており、瀬戸内側と内陸部の丹波地方さらには日本海側とを結ぶ交通上の要衝ともなっている。

新興住宅地　そして、このような交通機関の発達に伴い、今日では神戸・大阪への通勤圏となり、JR山陽本線加古川駅・東加古川駅を中心に、新興住宅地が急増している。そして、このような宅地化の波が及びつつある位置に美乃利遺跡がある。

美乃利遺跡　一級河川である加古川は、兵庫県水上郡青垣町を源とし、同郡水上町を経て南下する。そして、稲垣太郎姫命陵の所在する日岡山とその西側の升田山に挟まれた狹窄部を過ぎると一気に加古川平野が開ける。この狹窄部の南約1.2kmに美乃利遺跡が存在する。

美乃利遺跡は、JR加古川駅の北東約1.5kmに位置する。当遺跡の約700m南西を加古川バイパスが通っている。また、当遺跡から加古川までの最短距離は1.3kmである。

今回の調査地一帯は、宅地化の波が押し寄せるなか、エアポケットのようにその進行を免れ、水田地帯となっていたところである。

〔参考文献〕

- (1) 田中真吾「加古川市付近の地形と地質」『加古川市史 第一巻』兵庫県加古川市 1989
- (2) 橋川真・「加古川宿」『兵庫の街道いまむかし』神戸新聞総合出版センター 1994
- (3) 加古川総合文化センター「加古川総合文化センター 博物館常設展示あんない〜改訂版〜」 1992



第4圖 主要周辺遺跡

- | | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|----------------|
| 1. 美乃利遺跡 | 11. 神宮山古墳群 | 21. 西山大塚 | 31. 水足古墳群 | 41. 今福遺跡 |
| 2. 辻古墳群 | 12. 神吉遺跡 | 22. 黒古墳 | 32. 日岡山古墳群 | 42. 輪林寺 |
| 3. 大岡山道跡 | 13. 天下原遺跡 | 23. 西山道跡 | 33. 常楽寺 | 43. 尾上道跡 |
| 4. 岸遺跡 | 14. 神吉南遺跡 | 24. 山角庵寺 | 34. 溝ノ口遺跡 | 44. 浜の宮遺跡 |
| 5. 米田道跡 | 15. 升田遺跡 | 25. 城山遺跡 | 35. 粟津遺跡 | 45. 長砂遺跡、聖陵山古墳 |
| 6. 中西低地遺跡 | 16. 升田山古墳群 | 26. 西条古墳群 | 36. 平野遺跡 | 46. 東宮町遺跡 |
| 7. 中西塚寺 | 17. 飯盛山古墳群 | 27. 西条庵寺 | 37. 北在家遺跡 | 47. 長畑遺跡 |
| 8. 中西内地道跡 | 18. 平荘湖古墳群 | 28. 神野遺跡 | 38. 教信寺 | 48. 大中道跡 |
| 9. 東神吉遺跡 | 19. 平山遺跡 | 29. 石守庵寺 | 39. 野口庵寺 | |
| 10. 砂部遺跡 | 20. 地藏寺古墳群 | 30. 石守古墳群 | 40. 古大内遺跡 | |

第2節 歴史的環境

- 近隣の遺跡** 美乃利遺跡は加古川下流域左岸に形成された自然堤防上に位置する。周辺のおもな遺跡には溝之口遺跡・日岡山古墳群・石守庵寺がある。中でも溝之口遺跡は美乃利遺跡に隣接する遺跡で、美乃利遺跡との関連が注目される。溝之口遺跡の標高はおよそ6m、北東から南西へゆるやかに傾斜する。調査が始まった当初は東溝遺跡と呼ばれていた。弥生時代前期新段階から遺構が存在するが、住居跡が営まれるのは弥生時代中期からで、円形周溝墓・方形周溝墓・木棺墓も造られた。現在までの調査では若干の断絶があるものの、古墳時代・古代にも存続する加古川左岸の中心的な集落と思われる。
- 縄文と弥生** 加古川下流域の縄文時代の遺跡は、後期中葉の志方町東中遺跡（標高23m）や後期の八幡町宮山遺跡（標高25m）、晩期の砂部遺跡や岸遺跡と加古川右岸に優勢である。砂部遺跡（標高5m）では、弥生時代前期末の溝や住居跡や「土器焼成」土坑などが調査されており、包含層から出土した縄文時代晩期滋賀里Ⅳ式の土器と弥生時代前期後半の土器との空白期の状況が問題となっている。隣接する東神古遺跡（標高5m）でも弥生時代前期後半の溝を確認している。また、岸遺跡（標高10m前後）でも縄文時代晩期「船橋式」の土器と弥生時代前期の土器が同一層から出土しており、かつて縄文時代晩期と弥生時代前期との接点として注目されたが、今日では両者の間に若干の時間差が考えられるようになった。なお、この遺跡では縄文時代晩期後半の粗製の無文土器片に稜の珣痕が確認されており、当地域での稲作の始まりを考える上で見逃すことはできない。加古川左岸では現在のところ縄文時代晩期に遡る遺跡は見つかっておらず、弥生時代前期後半に溝之口遺跡や美乃利遺跡が出現する。これら弥生時代前期に始まる遺跡は、居住域を少しずつ移動させながらも弥生時代後期にいたるまで継続して営まれた集落と考えられる。
- 高地性集落** 弥生時代中期後半には上記の遺跡に加え、いわゆる高地性集落と考えられる集落が現れる。西条庵寺下層遺跡は標高30mで、Ⅳ様式の焼失住居を含む堅穴住居3棟を確認している。また、標高10mであるが台地上に立地する中西台地遺跡（Ⅲ・Ⅳ様式）や標高20mの平山遺跡（Ⅳ様式、焼失住居あり）も眺望がよく、同様の性格の遺跡と考えられる。
- 集落の拡散** 弥生時代後期にはさらに遺跡の数が増える。今福・長砂・粟津・北在家・大中の各遺跡は溝之口遺跡から南5～6kmにあり、分村と考える意見もある。加古川右岸の砂部遺跡と岸・升田・天下原遺跡も直径約5kmの範囲にあり、同様の関係が考えられている。
- 墳丘墓と古墳** 弥生時代終末には西条52号墳や神古山5号墳のように墳丘をもち、列石がめぐるいわゆる弥生墳丘墓が築かれるようになる。八つ塚古墳群も貼石を持ち、弥生墳丘墓の可能性がある。これらに続くのが、日岡山古墳群で、日岡陵・勅使塚・西大塚・南大塚・北大塚の5基の前方後円墳をふくむ8基が群をなし、4世紀代に遡る前期の古墳群である。また、日岡から東へ約2kmの西条古墳群は、全長110mの前方後円墳の行者塚古墳と帆立貝式の前方後円墳である厄塚・人塚の3基からなり、5世紀に下る。この二つが加古川下流域を代表する古墳群であり、この日岡・神野の台地の上には、ともに古墳時代後期の群集墳が営まれる。加古川右岸には長慶寺山古墳群や天坊山古墳があるが、左岸にくらべ古墳の数

や規模は著しく見劣りがする。

集落遺跡 古墳時代の集落遺跡は溝之口遺跡や砂部遺跡があり、いずれも弥生時代から続く拠点的な遺跡である。ただし、現在のところ数棟の住居跡や掘立柱建物といった断片的な資料が得られているにすぎない。なお、後者からは渡来系の土器が出土し、枕で護岸した溝やしがらみが検出され、石製模造品・ガラス小玉・銅鏝などが出土している。他に北在家遺跡でも古墳時代の住居が調査されている。

郡衙の所在 古代の賀古郡衙の位置について、吉本昌弘は白鳳期の「一郡一寺」的な寺を伴う郡衙が多いことから、野口庵寺北西の方格地割を候補に考えている。溝之口遺跡では倉庫と思われる柱の掘立柱建物や、方形に配置された建物群などが発見されており、郡衙ではないにしろ、役所的な性格をもつ集落があったものと思われる。なお、印南郡衙については、今里幾次は中西庵寺のある大園里を考えているが、付近に方格地割のないことから吉本昌弘は「益気御宅」の故地、平荘町の西山の段丘上の方格地割を推測している。

条里 加古川左岸の日岡山の段丘に南接する加古川町大野・美之利・溝之口から尾上町・野口町を経て別府町新野辺の尾上神社付近から南東に延びる砂堆に至るまでの広い範囲に、N44°-43°Eの方位の条里地割がみとめられる。加古川右岸では、東は平荘湖をかこむ山地、西を高御位山から竜山に延びる山地、北を志方町の段丘に囲まれた氾濫原上に、東神吉町升田から米田町神爪までの地区にわたって条里の地割が広がり、N44°Eと左岸とはほぼ同じ方位である。この広範な同一企画による条里の施行は、賀古駅家推定地である古大内遺跡に近接する駅ヶ池の南を通り、加古川の氾濫原を直進する古代山陽道と密接に関連するものと考えられている。

賀古の駅家 延喜式の定めによれば山陽道の駅馬40疋を置く賀古の駅家は日本最大の駅家であった。駅馬を30疋置くのは同じく山陽道の播磨国明石・草上と、東山道の近江国勢多・美濃国坂本・信濃国阿知の5駅のみであり、多くの駅家では20疋を常置するのが通例である。駅池（まやがけいけ）に隣接する古大内遺跡はおおよそ85m四方におよび、龍野市小犬丸遺跡（推定布勢駅家）の28丈方格の内郭と等しいとのことである。礎石が散在し、古瓦が数多く出土することからかつては「古大内庵寺」と呼ばれていたが、塔心礎が未発見で、瓦も「播磨国府系瓦」のみであり、播磨国司との強い関係が想定されるため、賀古の駅家の推定地とされるようになった。

古代寺院 加古川左岸の古代寺院には西条庵寺・石守庵寺・野口庵寺がある。西条庵寺は西条古墳群のほぼ中央の人塚古墳の東に位置する。いわゆる法隆寺式の伽藍配置をとり、塔・金堂とも瓦積葺であった。心礎は直方体に近い切り石に円形孔をくり込む竜山石製である。軒丸瓦は全て蓮華文であるが、単弁系7種・複弁系1種がある。軒平瓦は忍冬文系均整唐草文の2種が多くを占める。いずれも法隆寺に祖形が求められる。また、播磨国府系瓦にふくまれる見沙門式軒平瓦や、古大内遺跡と同范の鬼瓦も出土している。7世紀末ごろに創建された私立寺院が後に播磨国府と関連をもちつつ、9世紀ごろまで存続したと考えられる。

石守庵寺は美乃利遺跡に最も近く、日岡山東方の台地周辺部に位置し、西条庵寺からは南西1.5kmの距離である。法隆寺式の伽藍配置を基準とし、方一町の寺域を占めていたも

のらしい。塔は石積基礎で心礎は竜山石である。金堂は瓦積基礎であった。軒九瓦の大半は細弁十六集蓮華文で、三重圈文がそれに次ぐ。軒平瓦は波状文と斜格子文で、西条廃寺と同文の忍冬唐草文系の軒平瓦も少量出土している。8世紀前半葉に創建され、9世紀まで存続したものとされている。

野口廃寺は印南台地の西端部にあたり、古代山陽道に面している。未調査のため詳細は不明であるが、凝灰岩質の礎石や土壇状の隆起があり、古瓦も多く採集されている。軒九瓦の主体は鋸歯文縁複弁八葉蓮華文軒九瓦で、石守廃寺の創建時の瓦の母体と考えられている。また、この瓦は龍野市小神廃寺や小野市広渡廃寺のものと似ている。軒平瓦の主流はへつ描きの斜格子文である。遅くとも8世紀の初めには存在し、その創建は7世紀の後葉まで遡る可能性があるという。

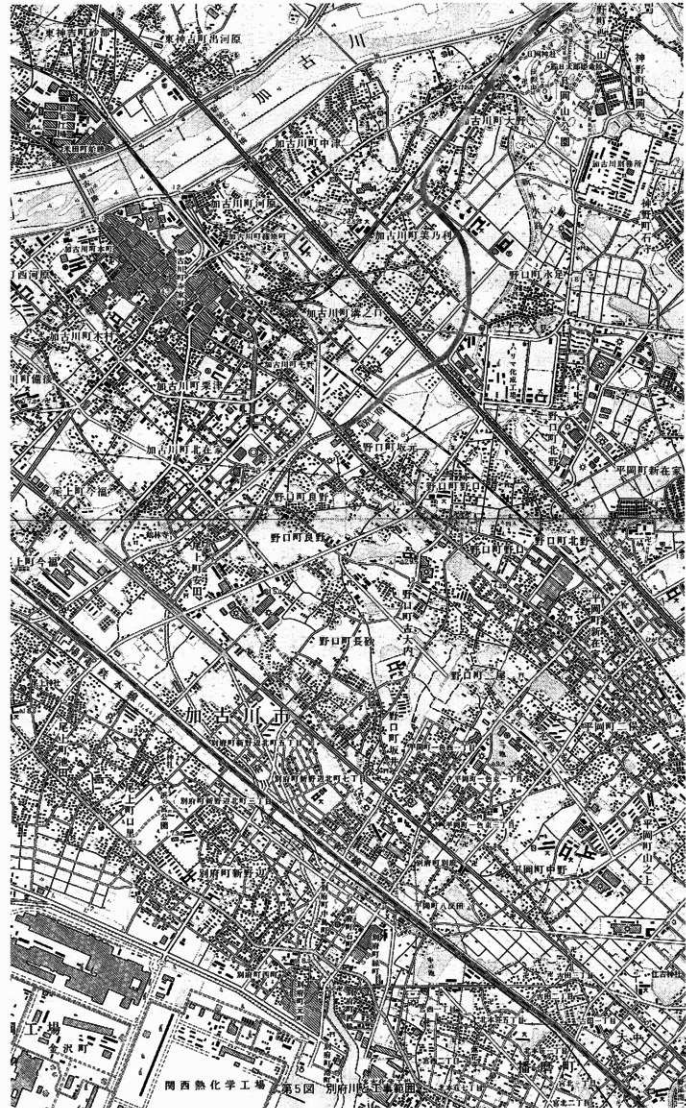
貞観の地震 西条・石守廃寺および中内廃寺はいずれも9世紀にいったんは廃絶したらしく、『日本三代実録』貞観十年(868年)七月条の「播磨国言しけらく、『今月八日、地大に震動りて、諸郡の官舎、諸定額寺の堂塔、尽く頽れ倒れき』と」という記事に記された大地震との関連が考えられている。

窯跡群 なお、加古川の古代の遺跡としては、白沢古窯跡群などの須恵器の窯跡群が市の東北部に存在し、美乃利道跡にもその製品が運びこまれていると思われる。

中世 さらに古代・中世から現存する建造物として、以下のものがある。日岡山の山麓にある人野常楽寺は正和4年(1315)在銘の宝塔など14世紀前半の五重塔・層塔・板碑などの石造美術が境内にある。周辺からは12世紀末から13世紀前半ころの神出窯産の瓦が出土しており、美乃利道跡に最も近い中世寺院である。同じ日岡にある日岡神社は賀古・印南両郡あわせて唯一の式内社である日岡坐佐々比古神社と考えられる。またやや南に離れている鶴林寺は、縁起によれば聖徳太子の建立といい、白鳳期の銅造聖観音立像を伝えるが、実際は平安時代後期ころに四天王寺として建立され、鳥羽天皇の勅願所となった後、鶴林寺と改めたものらしい。平安時代の木造仏像や天蓋・扁額・朝鮮鐘などが伝えられている。

【参考文献】

- (1) 置田雅昭・西谷眞治・今里幾次ほか『加古川市史』第1巻 1989年3月
- (2) 岡本一士・山本祐作・山田郁子ほか『溝之口遺跡発掘調査報告』I 1992年3月
- (3) 八木哲浩ほか『加古川市史』第4巻 1996年3月

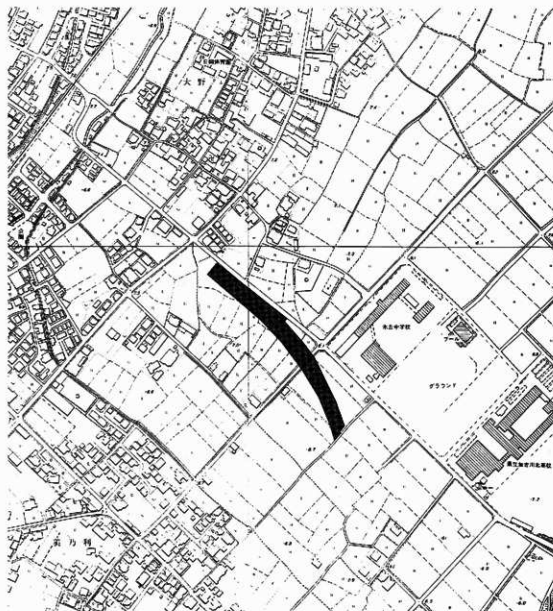


関西化学工業 第5図 別冊川上工場

第2章 調査に至る経緯

第1節 はじめに

工事の契機 調査対象となった加古川市加古川町美乃利・大野地区は、後述（第3章第1節）するように、加古川によって形成された沖積地にあたる。そして、海岸線までの距離が約3kmであるのに対して当地区の標高が約6mと、ほとんど傾斜が認められない。加えて、当地区には用水路を除いて河川が流れていない。このため、台風などによる大雨の際、排水機能が十分ではなく、数十年に一度の割合で道路・家屋などが浸水する被害が起きている。



第6図 調査位置

第2節 確認調査

別府川 以上のような状況を解決すべく計画されたのが、一級河川加古川水系別府川中小河川改良事業（第5図）である。これは、美乃利地区の南東部から瀬戸内海まで流れ注ぐ別府川を、さらに北進させ、兵庫県立加古川北高校および加古川市立氷園中学校の南側で大きく西側に向きを変え、さらにJR加古川線の東側で再び北進させ、JR加古川線日岡駅の北側、つまり加古川狭窄部の加古川と曇川の合流地点まで掘削しようとするものである。工事延長は4,120mに及ぶものである。

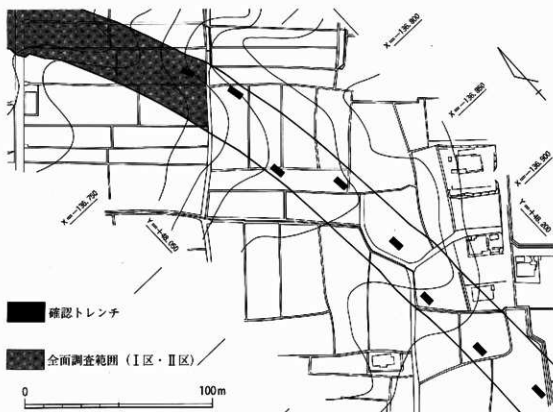
分布調査 ところで、この計画の対象となった地区の周辺には前述（第1章第2節）したように溝ノ口遺跡が周知されている。そこで、兵庫県立加古川土木事務所からの依頼により、昭和63年度に工事対象地区のなかで加古川町美乃利から同大野までの約2.2kmについて分布調査を実施した。

この結果、工事対象範囲のほぼ全域にわたって遺物の散布が認められた。このため、遺物の散布が認められた範囲について確認調査を実施することとなった。

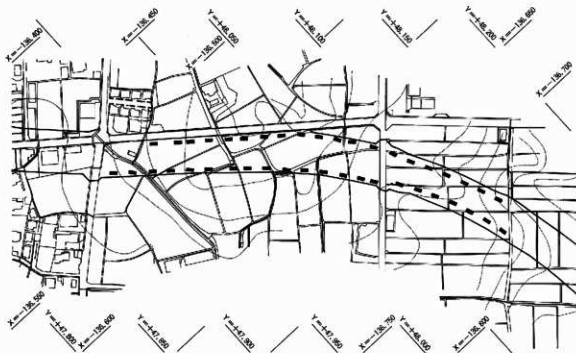
第2節 確認調査

確認調査は2回に分けて行った（第1次確認調査・第2次確認調査）。

第1次確認 昭和63年度に実施した。分布調査の結果、遺物の散布が比較的少ない兵庫県立加古川北高校付近より下流側を対象とした。対象地は沖積地であり、土層堆積の変化が予想されたため、2m×4mのトレンチを8箇所を設定し、遺構の有無を確認していった（第7図）。



第7図 確認調査位置（第1次）



第8図 確認調査位置(第2次)

この結果、第1次確認調査対象範囲内においては遺構は確認されなかった。ただし、第2次確認調査範囲(全面調査のⅠ区)に最も近いトレンチにおいて、その層相から微高地への移行部の可能性を指摘することができた。

第2次確認 平成元年度に実施した。対象範囲は、第1次確認調査より上流側の地区である。①分布調査において遺物が比較的多く認められたこと、②調査対象範囲が広いこと、③対象地が沖積地であるため土層の変化が複雑であると予想されること等の理由から、2m×5mのトレンチにより調査を進めていった。具体的には、工事対象範囲の両側に約15m間隔でトレンチを設定していった。

調査結果 計41箇所のトレンチ(第8図)を調査した。この結果、調査をした全てのトレンチにおいて、遺構の存在を確認するとともに、層位的には少なくとも3面にわたって遺構が存在することが明らかとなった。



第9図 第2次確認調査

第3節 全面調査

今後の調査 なお、確認調査を実施したのは下流側から市道大野平野線までであり、それより上流側については、本報告書を刊行する時点においてもまだに行われていない。地形的にみてさらに上流側にも遺構が広がる可能性が大いに考えられる。その結果、およびそれに基づく全面調査の結果については、次の報告書に譲ることにしたい。

なお、確認調査時の調査体制は以下の通りである。

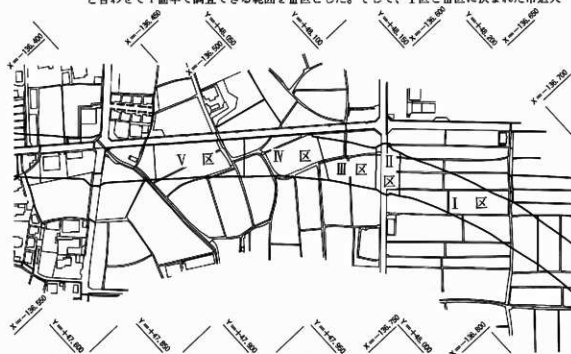
- 第1次確認** 調査主体 兵庫県教育委員会社会教育・文化財課
調査担当 兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
村上泰樹
- 第2次確認** 調査主体 兵庫県教育委員会社会教育・文化財課
調査担当 兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
平山博幸・山田清朝

第3節 全面調査

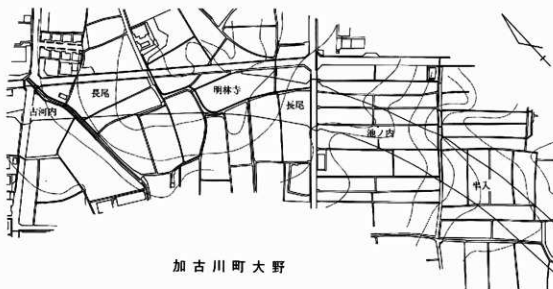
はじめに 確認調査の結果に基づく全面調査対象範囲は約6500m²と広範囲である。このため、1箇年度で調査を完了することは困難と判断し、平成2年度と平成3年度の2箇年にわけて行った。しかも、調査対象範囲内には市道および水路が調査区内を横断している。しかし、調査によってこれらの市道および水路の機能を停止することは困難であった。

以上のことから、最終的に、調査区をⅠ区からⅤ区の5地区に分割（第10図）して行うこととなった。

地区割り まず、市道大野美乃利線の南東側を一地区（Ⅰ区）とし、その北西側については、Ⅰ区と合わせて1箇年で調査できる範囲をⅢ区とした。そして、Ⅰ区とⅢ区に挟まれた市道大



第10図 地区割り図



加古川町大野

第11回 調査地の小字

野美乃利線部分をⅡ区とした。さらにⅢ区の北西側については、北側から南側にかけてクランクしながら流れる用水路を境とし、南東側からⅣ区・Ⅴ区とした。

なお、確認調査を行った箇所のはほぼ全面調査の調査範囲外にあたることを明記しておく。これは、確認調査においては、工事対象範囲ぎりぎりの位置にトレンチを設定したのに対して、全面調査時には周囲の水田との境に簡易な畦を設けたため、掘削できなかったことに起因することによるものである。

調査面積 各地区の調査面積は、Ⅰ区が $2,067\text{m}^2$ 、Ⅱ区が 368m^2 、Ⅲ区が $1,096\text{m}^2$ 、Ⅳ区が $1,532\text{m}^2$ 、Ⅴ区が $1,593\text{m}^2$ である。よって、総調査面積は $6,656\text{m}^2$ となる。

調査年度 平成2年度にⅠ区とⅢ区を対象とし、Ⅰ区→Ⅲ区の順に行った。平成3年度はⅡ区とⅣ区・Ⅴ区の3地区を対象とし、Ⅳ区→Ⅴ区の順におこなった。Ⅱ区については、Ⅳ区の調査後半からⅤ区の調査前半にかけて併行して行った。

なお、全面調査時の調査体制は以下の通りである。

平成2年度 調査主体 兵庫県教育委員会社会教育・文化財課

調査担当 兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所

山田清朝・菱田淳子

調査補助員 友久伸子・海老原正裕・菅原祐二・長尾 聡

室内作業員 五條美登里・菊島昌子・佐藤朋子・菅岩幸子・杉原秀美・中原悦子

萩原 操

平成3年度 調査主体 兵庫県教育委員会社会教育・文化財課

調査担当 兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所

山田清朝・菱田淳子・中村 弘・矢野治巳

調査補助員 友久伸子・向井裕子・竹村忠洋

室内作業員 山本康恵・菊島昌子・佐藤朋子・河辺貞子・森 昌代

第4節 整理作業

整理作業は、平成3年度の調査終了時点で、出土遺物量等をもとに整理計画をたて、翌平成4年度から作業を実施した。各年度ごとの作業内容は以下の通りである。

- 平成4年度 兵庫県教育委員会魚住分館にて土器の接合作業を実施した。あわせて、遺構台帳の作製をおこなった。
- 平成5年度 前年度に引き続き魚住分館にて土器の接合作業をおこなった。また、遺構台帳の作製も引き続きおこなった。
- 平成6年度 本年度から土器の実測を開始した。
- 平成7年度 前年度で終了する予定であった土器の実測が終了しなかったため、残りの土器の実測をおこなった。また、木製品・石器の実測も合わせて行い、全てを完了した。その後、写真撮影予定の遺物については復元作業をおこない、当年度後半に写真撮影をおこなった。
- また、金属製品について、保存処理作業を実施した。
- 平成8年度 本報告書刊行年度にあたり、遺物・遺構図のトレース・レイアウトを行うとともに、出土遺物についての科学的分析・同定をおこなった。そして、以上の結果に基づき、原稿の執筆・編集作業をおこなった。また、木製品の保存処理作業を実施した。

なお、各年度の整理作業体制は以下の通りである。

- 平成4年度 整理担当職員 整理普及班 山下史朗
調査班 山田清朝・菱田淳子・中村 弘・矢野治巳
因化技術嘱託員 西原美知代・光澤鈴子・伊藤ミネ子・川上啓子・衣笠雅美・長谷川洋子・林 寿珠子・江口初美・家光和田
- 平成5年度 整理担当職員 整理普及班 山下史朗
調査班 山田清朝・菱田淳子・中村 弘・矢野治巳
因化技術嘱託員 西原美知代・光澤鈴子・伊藤ミネ子・川上啓子・衣笠雅美・長谷川洋子・林 寿珠子・江口初美・家光和田
- 平成6年度 整理担当職員 整理普及班 中川 涉
調査班 山田清朝・菱田淳子・中村 弘・矢野治巳
因化技術嘱託員 岡崎輝子・矢嶋 肇・中筋貴美子
- 平成7年度 整理担当職員 整理普及班 藤田 淳
調査班 山田清朝・菱田淳子・中村 弘・矢野治巳
因化技術嘱託員 森本貴子・島田瑠里・伴 悦子・小山みゆき・赤松千鶴・山口潤子・早川亜紀子・本塚山英子・香川フジ子
- 平成8年度 整理担当職員 整理普及班 中村 弘
調査班 山田清朝・菱田淳子・矢野治巳
因化技術嘱託員 森本貴子・島田瑠里・中筋貴美子・矢嶋 肇



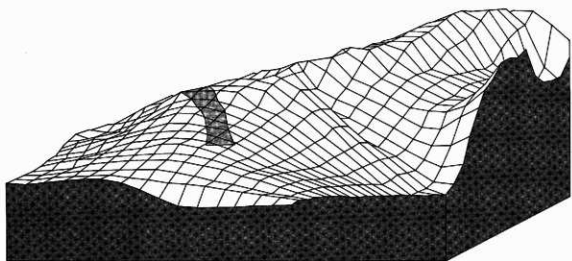
第12図 土器の復元作業 (1)



第13図 土器の復元作業 (2)



第14図 炭化米の計測



第15図 美乃利遺跡周辺微地形ブロックダイヤグラム

第3章 調査の結果

第1節 調査の概要

1. はじめに

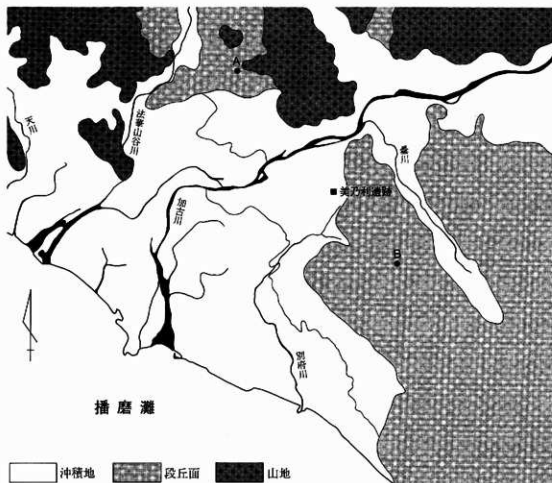
遺構検出 調査は3層の土壌層を基準に4面に分けて行った。上記の土壌層は、延長約300mと広範囲にわたって調査したため、各土壌層のレベル及び土壌層相互の関係に変化が認められる。このような土壌層に認められた変化は、当遺跡が立地する地形環境に起因するものと考えられる。そこで、当節では、調査結果をもとに微地形を中心とした地形環境を分析し、この結果を踏まえて遺構検出面との関係を明らかにしていくことにする。

2. 地形環境の復元

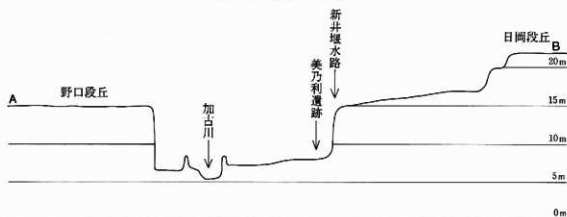
国土地理院発行1/25,000地形図・空中写真、加古川市発行1/2,500都市計画図、および土層観察を主とした調査成果をもとに、本遺跡の地形環境分析を行うことにする。なお、詳細な地形環境については第4章第9節で高橋 学氏が論じているので、参照されたい。



第16図 加古川平野



第17図 加古川平野の地形



第18図 加古川平野横断面

1/25,000 スケール まず1/25,000地形図をもとに概観する。当遺跡の位置する加古川下流域は、加古川を中心に両岸に沖積低地が広がっている。その縁辺部は更新世段丘となり、兩岸とも比高差約3～4mと顕著な段丘崖によって境が明瞭となっている（第18図）。美乃利遺跡もこの段丘崖に近く、調査地の約500m東側が日岡段丘および野口段丘の段丘崖となっている。¹¹²⁾

上記の段丘崖によって囲まれた沖積低地は、氾濫原面と完新世段丘面とからなる。しかし、第17図でも明らかのように、ほとんど平坦でより詳細な地形変化を読み取ることは困難である。そこで、次に1/2,500都市計画図をもとに、美乃利遺跡が立地する完新世段丘